

## 当科で処置を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学水道橋病院口腔外科において下記の内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

研究課題：基底細胞母斑症候群患者の角化嚢胞性歯原性腫瘍に関する臨床的・病理組織学的検討

角化嚢胞性歯原性腫瘍とは歯ができる過程の細胞からなる良性の病気です。2005年に周りの組織への影響や再発率の高さから良性の腫瘍の1つとされました。口腔外科では臨床で比較的良好に治療を行う疾患です。また、基底細胞母斑症候群(遺伝系の疾患)の患者様には全身の症状に加えて、約80%の方に認められるといわれております。症候群ではない患者様の角化嚢胞性歯原性腫瘍に関する報告は多くありますが、症候群の患者様に関しては少ないのが現状です。そこで今回我々は、角化嚢胞性歯原性腫瘍に関して症候群の患者様がそうでない患者様と比較して臨床的にどのような特徴があるのか、また処置後の経過観察を行う上で参考となる要因を模索することを目的に、当科で角化嚢胞性歯原性腫瘍と診断された患者様を調査することに致しました。

詳細は以下に記載致しましたので御確認ください。

1. 本研究の対象は2018年4月から2019年3月の1年間に当科で処置を行い、角化嚢胞性歯原性腫瘍と診断をうけた患者様です(基底細胞母斑症候群の患者様を含みます)。また、主にカルテ等の既存資料から情報を得ます。研究期間は倫理審査委員会承認から2020年3月31日までです。
2. 対象となる患者様はカルテより抽出とし、性別、年齢、発生部位、X線所見、腫瘍径、腫瘍数、治療法、隣接歯の処置、再発率、術後感染の有無、発症推定時期を調査致します。また、再発を認めた症例に関しては病理組織学的所見についても調査致します。
3. 今回の成果は学会や専門誌の論文発表に使用されます。個人が特定できないようにした状態で用い、研究の情報はパスワードで保護した上で管理致します。よって、名前や個人情報が公開されることはありません。
4. 研究への協力は患者様の自由な意思で決定できます。研究への協力を希望しない場合はその旨を研究責任者に申し出て、不同意書の記入をお願い致します。協力が得られないことで診療上にいかなる不利益も被ることはありません。
5. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。
6. 本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

お問い合わせ先

東京歯科大学 口腔病態外科学講座

研究責任者(情報管理責任者) 星野 照秀

所属長 片倉 朗

連絡先 03-6380-9246